

(資料1)

令和7年度 第1回健康いわき推進会議



いわき市健康づくり推進課



1. 開会
2. 委員自己紹介
3. 議事
 - (1) 令和7年度第1回健康推進企業普及部会の開催結果について
 - (2) 健康いわき21（第三次）について
 - ① 本市の健康状態について
 - ② 令和6・7年度健康づくり事業について
 - (3) いわき市の慢性腎臓病（CKD）重症化予防の取組みについて
4. その他
5. 閉会



3.(1) 令和7年度第1回健康推進企業普及部会の開催結果について



開催日	■健康推進企業普及部会 令和7年8月5日(火)
議事	<p>1 健康いわき21(第三次)の概要について 概要説明</p> <p>2 令和6・7年度健康づくり事業について 健康いわき21(第三次)の「いわき市健康長寿重点プロジェクト」の実施状況説明</p> <p>3 意見交換 (1) 概要 会員間の情報共有や、今後、市が行う健康づくりの取組みの参考とさせていただくことを目的に、次の視点から発言をいただいた。</p> <p>①地域や消費者を対象とした健康増進に関する取組みで、上手くいっていることや課題となっていること</p> <p>②会員や組合員事業所が実施している健康増進に関する取組みで、上手くいっていることや課題となっていること</p> <p>③「いわき市健康長寿重点プロジェクト」の取組み、特に、「いわきひとしお」や「健康経営」、「運動習慣づくり」に関し、現在、実施されている取組みで、今後、市と連携して実施可能な取組み</p>



議事

(2) 主な発言内容

- 減塩イベント直後は、減塩に対する意識は高いが、時間とともに意識が薄れることが課題と感じている。また、若いうちからの減塩食を食べる生活習慣づくりが大事。
- 健康事業所宣言の取組みには、県内2,200以上の事業所が参加している。健康経営の取組みは、上層部のみで従業員まで周知されていない例もあることから、宣言をすることで、従業員の健康リテラシーの向上が図れる。また、ふくしま健康経営優良事業所の認定は、健康に関する取組みをしている企業としてPRできるので、活用いただきたい。
- 健康管理や企業価値を高める取組みを支援しているが、特に、若い方には「健康」と言っても響かないところもあるので、「きれい」や「かわいい」のような文脈でも訴えていけば間口が広がるのではないかと考える。
- 約3,500の会員に対し、毎月会報誌を発行しているが、折込チラシの形で健康関連のチラシ等で周知できれば関心を高める一助になると考える。



第3次計画策定のポイント

全体構成

- ✓ 国「健康日本21」、県「健康ふくしま21」に準じた構成 (施策体系図) とする。
- ✓ 「市食育推進計画」を内包し、一体的に策定する。

基本理念

- ✓ 第2次計画同様、「心身ともに健康で、いきがいを持って生活できる」 とする。

主な留意点

- ✓ 『重点指標』を設定する。
 - ※ 国県統計データと比較できるなど、客観的な評価ができる指標を8つ設定。
- ✓ 『重点プロジェクト』を設定する。
 - ※ 重点指標との関連性が高い施策を5つ設定。
- ✓ 市民の行動変容につなげるわかりやすい計画 とする。
 - ※ 国県比較によるデータの見える化、わかりやすい言葉やイラストの使用、ライフコース別の「アクションプラン」の提示。
 - ※ 概要版リーフレット、ライフコース別啓発チラシの作成。
 - ※ 分野別(喫煙・飲酒・睡眠など)に対応した市民向け啓発動画の作成。



3.(2)① 【目的・位置付け・期間】



計画の目的

- 本市は、全国的な傾向同様、少子高齢化、人口減少等が進行している。
- 働き方をはじめ、生活習慣の多様化などから、食習慣の乱れ、生活習慣病の増加、心理的ストレスや社会参加の減少など、様々な健康課題を抱えている。
- 健康寿命（お達者度）や心疾患及び脳血管疾患の標準化死亡比、特定健診受診率等の健康指標が国や県、県内他市と比較し、低迷している状況となっており、健康指標の改善が喫緊の課題。
- 健康課題の解消に向け、変化する社会環境やニーズに対応しながら、市民一人ひとりの健康づくりへの取り組みや、ICT技術を利用した健康増進事業、健康経営の拡大など、多種多様な取り組みを推進していく必要がある。
- 本計画では、市民アンケート調査の結果や、国の「健康日本21（第三次）」及び県の「第三次健康ふくしま21」の方向性等を捉え、健康課題を踏まえた、指標や数値目標の設定、重点施策の方向性等を示すことで、市民が生涯にわたり心身ともに健康で、生き生きと生活ができる健康長寿社会の実現を目指すことを目的に策定するもの。

計画の位置付け

- 本計画は、健康増進法第8条第2項に基づく「市町村健康増進計画」であり、さらに、食育基本法第18条第1項に規定する「市町村食育推進計画」として策定する「第4次いわき市食育推進計画」を内包し、一体的に策定する。
- 「いわき市共に創る健康づくり推進条例」を踏まえながら、上位計画である「いわき市 まちづくりの基本方針」をはじめ、健康・食育に関連する各個別計画との整合を図り、本市の健康・食育施策を着実に推進するための行動計画とする。

計画期間

- 本計画は、国の「健康日本21（第三次）」及び県の「第三次健康ふくしま21計画」の計画期間が12年であることに合わせ、令和6年度（2024年度）から令和17年度（2035年度）までの12年間の計画の期間として設定する。
- 成果指標について、実質的な改善効果を中間段階で確認できるよう、令和11年度に中間評価を実施する予定。

【健康いわき21（第三次）の計画期間】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
いわき市	ふるさと・いわき21プラン															
	いわき市 まちづくりの基本方針															
	健康いわき21（第二次） 第3次いわき市食育推進計画				健康いわき21（第三次）及び 第4次いわき市食育推進計画				中間評価		健康いわき21（第三次）及び 第4次いわき市食育推進計画					
福島県	第二次健康ふくしま21計画				第三次健康ふくしま21計画								中間評価		第三次健康ふくしま21計画	
	第三次福島県食育推進計画		第四次福島県食育推進計画													
国	健康日本21（第二次）				健康日本21（第三次）								中間評価		健康日本21（第三次）	
	食育推進基本計画（第3次）		食育推進基本計画（第4次）													

最終評価の目標値の設定については、令和14年度を目標年度としています。

目標値設定年度

基本理念
MISSION

心身ともに健康で、いきがいを持って生活できる

基本方針
VISION

若年層からの生活習慣病の予防・改善

基本的な方向・主要施策

- ① 健康寿命の延伸と健康格差の縮小
- ② 個人の行動と健康状態の改善
- ③ 社会環境の質の向上
- ④ ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

重点プロジェクト

- ① 減塩食普及プロジェクト「いわきひとしお」の推進
- ② スポーツの力を活用した運動習慣づくりの推進
- ③ 生活習慣病の発症予防・重症化予防の強化
- ④ 壮年期の健康づくり・健康経営の推進
- ⑤ 子ども・高齢者の健康づくりの推進

行動指針
VALUE

戦略
STRATEGY

3つの視点で各種施策を推進

環境を変える

意識を変える

行動を変える

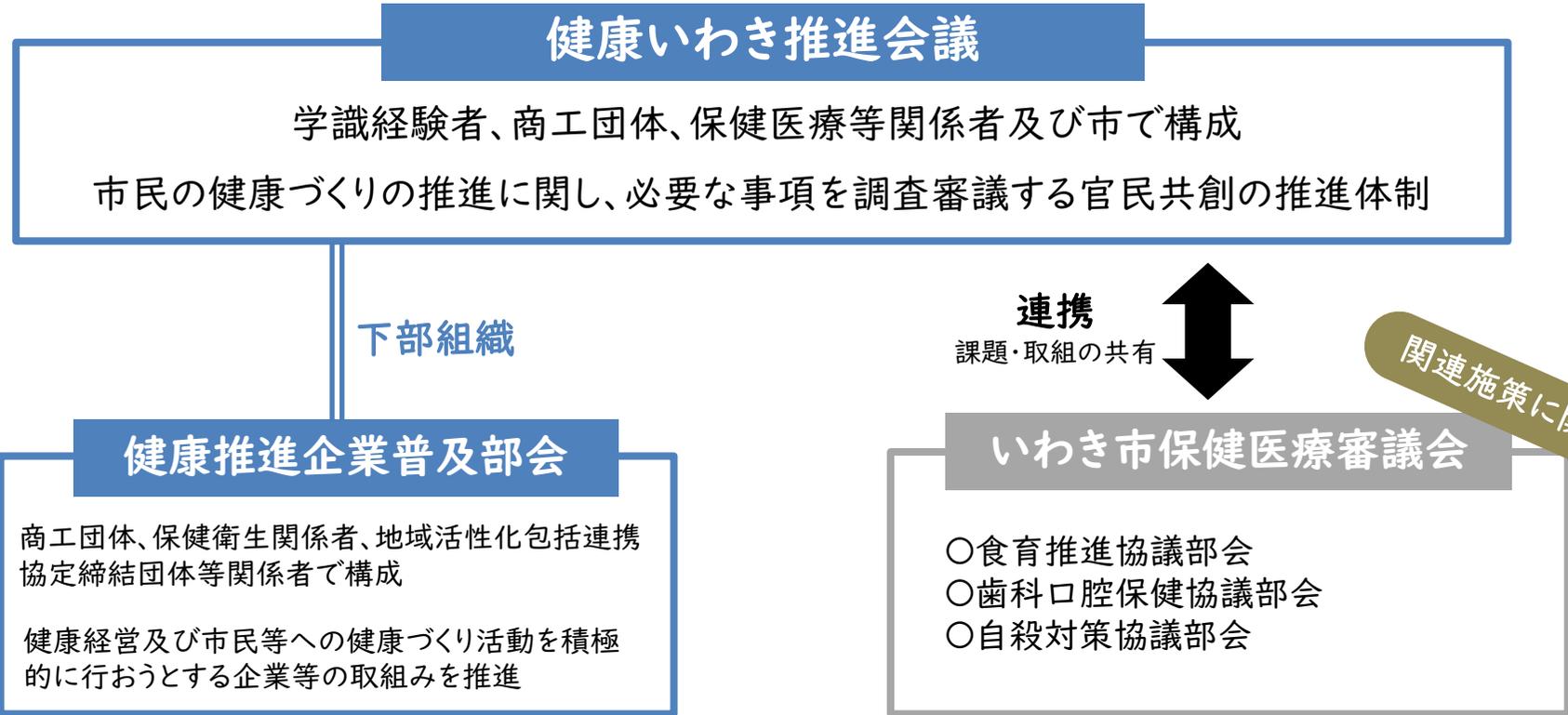


3.(2)① 【推進体制】



いわき市共に創る健康づくり推進条例

- 目的** 全ての市民が生涯にわたり心身ともに健康で生き生きと生活ができる健康長寿社会の実現に寄与する
- 基本理念** 市民の健康づくりを、市民、地域団体、事業者、保健医療等関係者及び市が共に創る



重点指標・重点事業を中心とした進捗管理・事業評価等による健康づくり施策の推進



3.(2)① 【市民の健康状態①】



こどもの健康課題

肥満

肥満傾向児の割合(10歳)

10歳 男子 19.05% 県 16.00% 国 12.73%
女子 13.54% 県 11.55% 国 9.10%

男女ともに依然として国県を上回っている。
(%)

肥満傾向	調査	市	県	国
男子	R6	19.05	16.00	12.73
	R3	15.64	19.80	12.58
	差	3.41	▲3.80	0.15
女子	R6	13.54	11.55	9.10
	R3	11.67	15.17	9.26
	差	1.87	▲3.62	▲0.16

R6年学校保健統計調査

運動能力

体力・運動能力テスト(総合得点平均値)

小学生 男子 44.13 県 44.59 国 46.78
女子 45.83 県 46.43 国 47.37
 中学生 男子 40.32 県 41.56 国 43.98
女子 46.93 県 48.11 国 52.23

小・中学生の男女ともに国県を下回っている。

体力テスト		調査	市	県	国
小学生	男子	R3	44.13	44.59	46.78
	女子		45.83	46.43	47.37
中学生	男子	R3	40.32	41.56	43.98
	女子		46.93	48.11	52.23

R3年体力・運動能力調査

視力

裸眼視力1.0未満者の割合

小学生 41.17% 県 41.10% 国 36.80%

中学生 53.83% 県 64.20% 国 60.60%

小・中学生とも改善傾向にある。
(%)

視力低下	調査	市	県	国
小学生	R6	41.17	41.10	36.80
	R3	45.11	40.60	36.87
	差	▲3.94	0.50	▲0.07
中学生	R6	53.83	64.20	60.60
	R3	56.18	64.60	60.66
	差	▲2.35	▲0.40	▲0.06

R6年学校保健統計調査

むし歯

むし歯有病率

小学生 45.14% 県 40.30% 国 32.90%

中学生 34.37% 県 34.70% 国 26.50%

小・中学生とも改善傾向にある。
(%)

むし歯	調査	市	県	国
小学生	R6	45.14	40.30	32.90
	R3	52.78	53.40	39.04
	差	▲7.64	▲13.10	▲6.14
中学生	R6	34.37	34.70	26.50
	R3	39.85	35.10	30.37
	差	▲5.48	▲0.40	▲3.87

R6年学校保健統計調査



3.(2)① 【市民の健康状態②】



大人の健康課題

健康寿命

健康寿命(お達者度)

男性 16.76年 県 17.50年 国 未公開
 女性 19.55年 県 20.56年 国 未公開

男女とも若干改善された。

(年)

お達者度	調査	市	県	国
男性	R4	16.76	17.50	未公開
	R1	16.66	17.46	18.21
	差	0.10	0.04	
女性	R4	19.55	20.56	未公開
	R1	19.53	20.61	21.21
	差	0.02	▲0.05	

2022福島県市町村別お達者度

食塩摂取量

男性 9.4g 国目標値 7.5g未満
 女性 8.8g 国目標値 6.5g未満

男女とも横ばいの状態。

(g)

食塩摂取量	調査	市
男性	R6	9.4
	R4	9.4
	差	0.0
女性	R6	8.8
	R4	8.9
	差	▲0.1

R6年いわき市特定健診・健康診査

標準化死亡比

標準化死亡比(国平均100)

心疾患 脳血管疾患
 男性 124.9 県 110.8 130.2 県 121.5
 女性 122.2 県 110.9 135.5 県 129.3

男性の心疾患のみ改善された。

(国平均100)

心疾患	調査	市	県	脳血管疾患	調査	市	県
男性	H30~R4	124.9	110.8	男性	H30~R4	130.2	121.5
	H25~29	128.9	118.5		H25~29	127.5	118.7
	差	▲4.0	▲7.7		差	2.7	2.8
女性	H30~R4	122.2	110.9	女性	H30~R4	135.5	129.3
	H25~29	114.3	113.6		H25~29	130.5	129.0
	差	7.9	▲2.7		差	5.0	0.3

H30~R4年人口動態保健所・市町村別統計

メタボ率

改善傾向にある。(%)

メタボ	調査	市	県
メタボ率(A+B)	R5	34.3	34.6
	R3	35.1	35.0
	差	▲0.8	▲0.4
該当者(A)	R5	22.7	22.7
	R3	23.1	22.8
	差	▲0.4	▲0.1
予備軍(B)	R5	11.6	11.9
	R3	12.0	12.2
	差	▲0.4	▲0.3

R5年福島県国保連合会DALAND

特定健診受診率

改善傾向にある。(%)

特定健診	調査	市	県内市町村
受診率	R5	35.16	44.44
	R3	31.85	42.28
	差	3.31	2.16

R6年ふくしまの国保のすがた

高血圧の割合

男女とも改善傾向にある。(%)

高血圧	調査	男性	女性
割合	R5	51.3	47.1
	R3	54.3	49.6
	差	▲3.0	▲2.5

R5年福島県国保連合会DALAND

特定保健指導実施率

改善傾向にある。(%)

特定保健指導	調査	市	県内市町村
実施率	R5	26.26	39.01
	R3	15.93	33.89
	差	10.33	5.12

R6年ふくしまの国保のすがた



3.(2)① 【重点指標の目標と現状】



※青：計画策定時と比較して改善傾向にある指標

指標名		計画策定時(R4)	現状(最新)値	目標値(R14)	備考(出展等)
1-1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小					
①健康寿命の延伸 (お達者度の延伸)	男性	16.66年(R1) 国平均18.21年 県平均17.46年	16.76年(R4) 国平均 — 年 県平均17.50年	県平均値	福島県市町村別「お達者度」算定結果より ※3年に一度公表
	女性	19.53年(R1) 国平均21.21年 県平均20.61年	19.55年(R4) 国平均 — 年 県平均20.56年	県平均値	
②健康格差の縮小 (お達者度の県平均との差の縮小)	男性	0.80年(R1)	0.74年(R4)	0.00年	
	女性	1.08年(R1)	1.01年(R4)	0.00年	
2-1 生活習慣の改善 (1)栄養・食生活					
食塩摂取量の減少(1日あたり)	男性	9.4g	9.4g(R6)	7.5g(国目標値)	市特定健診・健康診査推定食塩摂取量結果より
	女性	8.9g	8.8g(R6)	6.5g(国目標値)	
2-2 生活習慣病の発症予防・重症化予防 (1)がん (2)循環器病 (3)糖尿病 (4)COPD					
脳血管疾患死亡率の減少(10万人あたり) ※標準化死亡比はP9で既出		115.6(R3) 国平均85.2 県平均121.1	122.2(R5) 国平均86.3 県平均127.1	国平均値	人口動態統計(確定数)の概況(福島県)より
心疾患死亡率の減少(10万人あたり) ※標準化死亡比はP9で既出		235.5(R3) 国平均174.9 県平均225.7	224.3(R5) 国平均190.7 県平均233.6	国平均値	
メタボリックシンドローム該当者及び予備群該当者の減少(市国保)		35.09%(R3)	34.3%(R5)	21.0%(県目標値)	市データヘルス計画より
喫煙率の減少		25.2%(H30~R2)	25.0%(R1~R3)	12.0%(国目標値)	福島県版健康データベース(FDB)報告書より
3-2 自然に健康になれる環境づくり					
3-3 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備					
健康経営に取り組む企業数の増加 (ふくしま健康経営優良事業所認定数[市内])		39社	41社(R6)	70社	福島県HPより



3.(2)① 【主な指標の推移】



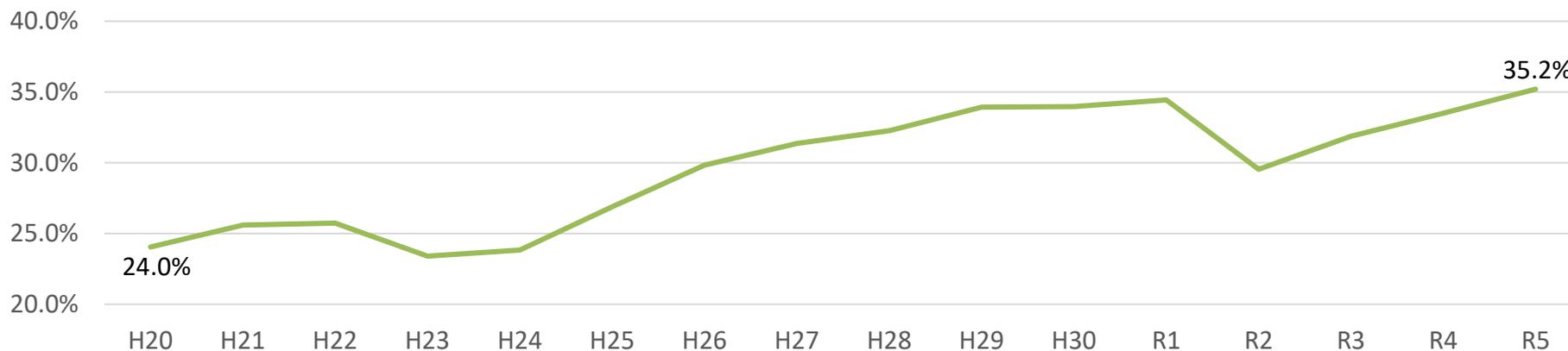
1 標準化死亡比

- ・国平均を100とし、100以上は国平均より死亡率が高く、100以下の場合死亡率が低い。
- ・年齢構成の違いを除去し算出
- ・前々回と比較し、生活習慣病とされる悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の3項目全て、男女とも改善された。

		悪性新生物		心疾患		脳血管疾患	
		男	女	男	女	男	女
H20～24	県	99.3	95.3	119.8	112.6	117.5	119.7
	いわき市	104.2	102.5	127.6	128.3	133.2	140.0
H25～29	県	100.4	98.2	118.5	113.6	118.7	129.0
	いわき市	100.0	96.5	128.9	114.3	127.5	130.5
H30～R4	県	103.7	100.8	110.8	110.9	121.5	129.3
	いわき市	102.5	99.8	124.9	122.2	130.2	135.5

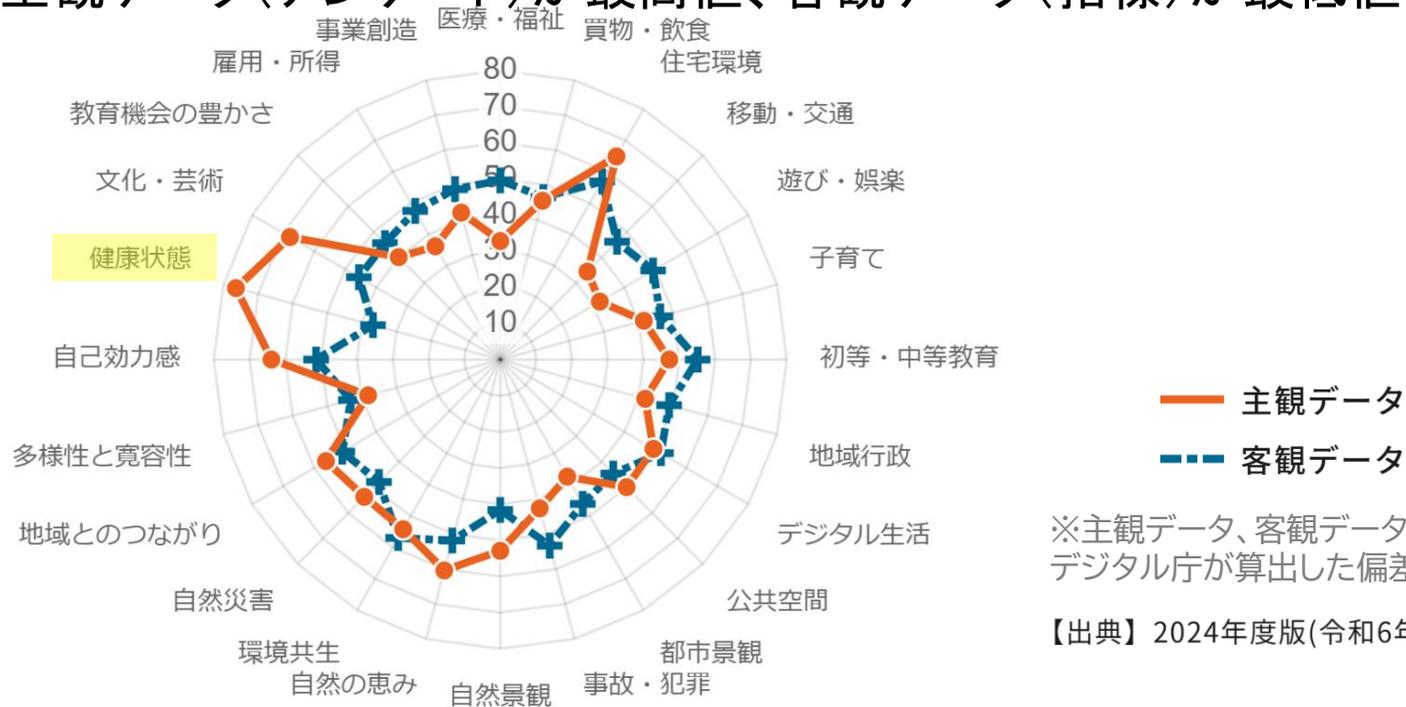
2 特定健診受診率

- ・コロナの影響で一時低迷したが、R5年度受診率は、H20年度の制度開始以降、過去最高の35.2%となった。



Well-Being調査(しあわせ調査)

- ・いわき市は令和6年度に初めて実施
- ・24の調査項目のうち、「健康状態」が主観と客観の差が最も大きい
- ・主観データ(アンケート)が最高値、客観データ(指標)が最低値



自分は健康であると考えている人が多い一方で、客観データは低く、将来的に主観データも降下することも想定される。そのため、健康づくりの更なる推進が必要。



減塩食普及プロジェクト「いわきひとしお」【重点PJ①】

～高血圧対策に向けた減塩食の普及・促進～

全世代

主な取組1 減塩商品・減塩レシピの開発・提供

【令和6年度】

○マルトの「福幸プロジェクト」と連携した、塩分に配慮した弁当の開発・販売

💡 販売実績 R5:約12万食
R6:約19万食

○平中央公園での喰酒祭、サンシャインマルシェにて、減塩メニューの「ひとしお唐揚げ」や「トマト酸辣湯」を提供

○ひとしおLabにおいて、トマトを使用した新レシピ等を開発し、第2弾減塩レシピブックを制作



【令和7年度】

○おいしい「減塩食」の体験強化

市内イベントや商業施設等にキッチンカー又は出店し、実際にひとしおLabの「減塩レシピ」を食べてもらい「減塩食=おいしくない」を払しょくし、減塩食の普及を図る。



主な取組2 減塩推奨デー「いわきひとしおの日」の普及促進

【令和6年度】

○毎月17日の「いわきひとしおの日」PRのため、のぼり旗の掲出やマルトの折り込みチラシによる情報掲載

○マルトと連携した減塩弁当を毎月17日から約1か月各店舗で販売

○「いわきひとしおの日」に8階食堂で減塩メニューを提供

○小・中学校の学校給食で減塩献立「塩こうじスープ」を提供

【令和7年度】

○小・中学校の学校給食メニューで減塩メニュー提供予定



予告!! 4/17(木)・4/18(金) 2日間限定

ひとしおランチ 各680円(税込)

お豆腐つくね&ふわ玉豆苗炒め (ライス・生野菜・デザート・ウロン茶付)

ひとしおラボの新作レシピ2品を、8階食堂が再現!

1家あたりの食塩相当量 2.3g

オリジナルの減塩おでしで、ペペロンチーノを減塩! タラとトマトソースもご堪能ください。

Bランチ 春キャベツのペペロンチーノ タラのムニエル添え (生野菜・デザート・ウロン茶付)

1家あたりの食塩相当量 2.2g

1日の食塩摂取目標値 **・男性7.5g未満 女性6.5g未満





3.(2)② 令和6・7年度健康づくり事業について【重点プロジェクト①】



減塩食普及プロジェクト「いわきひとしお」【重点PJ①】

～高血圧対策に向けた減塩食の普及・促進～

全世代

主な取組3 官民連携による減塩企画の実施

【令和6年度】

- (マルト)減塩弁当の開発・販売、店舗での普及啓発・健康測定会、減塩レシピ(第2弾)お披露目会等を実施
- (イオン、PaixPaix)店舗での減塩味噌汁試飲・啓発活動・健康測定会を実施
- (味の素)小学5年生対象の出前授業「うま味・栄養のひみつ」を実施
- (亀田製菓)イベント等で配布する減塩商品の啓発品の提供
- 平商業高校、磐城農業高校の商品開発への協力



💡「ひとしお」の認知度

よく知っている・聞いたことはある
…約54%(アンケート調査より)

【令和7年度】

- ひとしおサポーター(仮称)制度の導入
 - ・地域で活動する団体と連携し、プロジェクトの幅広い展開を目指す
 - ・コンセプトに賛同する健康推進員、管理栄養士等を想定



主な取組4 減塩に関する情報発信等

【令和6年度】

- 市SNS「いわきの極意」情報発信
- いわきひとしおホームページを開設。減塩レシピ調理動画や、「あかつ」主演の減塩アイデア動画を掲載
- タウンマガジンいわき掲載
- イオンモール内フードコートにシールメディア設置



【令和7年度】

- いわきFCの発信力を活用した情報発信
 - ・FC選手出演の啓発動画
 - ・FC選手とひとしおLabによるレシピ開発等
 - ・動画をスタジアムビジョン等で発信





スポーツの力を活用した運動習慣づくりの推進【重点PJ②】

～運動習慣づくりによる市民の生活習慣病の予防・改善～

全世代

主な取組！ いわきFCと連携した健康づくり

～「スポーツの力」健康的な人・まちづくり推進事業～

・いわきFCと連携し、運動習慣プログラムや、ホームゲームでの健康づくり啓発を一体的に実施

【令和6年度】

①運動習慣プログラム

- ・トレーナーのリアルタイム指導による
オンライントレーニング
(ダイエット、ヨガの2コース×8回)

②保健指導サポートプログラム(全6回)

- ・コーチ(作業療法士)や選手による運動教室
- ・講話、女性の健康づくり、フレイル予防運動教室

③ホームゲームと連携した健康づくり

- 試合前のフィールドでの親子参加型教室
- 「いわき市健康的な人・まちづくりブース」の設置
血流を測定する健康測定会を実施
- 減塩やスタミナを意識したスタジアムグルメの
開発・販売
減塩ピザ、減塩弁当、にんにくソースカツ丼等

【令和7年度】

令和6年度の①、③に加え、新たに、FCの発信力を活用し情報発信を実施

○スタジアムにおける情報発信

- ・デジタルサイネージでの文字広告(4月～11月の全15試合)
- ・大型ビジョンによる動画広告(8月～11月の全7試合)

○減塩メニューの開発・普及啓発

- ・FC選手とひとしおLabによるメニュー開発・動画制作
- ・開発したメニューによる親子料理教室開催、レシピブック制作





3.(2)② 令和6・7年度健康づくり事業について【重点プロジェクト②】



スポーツの力を活用した運動習慣づくりの推進【重点PJ②】

～運動習慣づくりによる市民の生活習慣病の予防・改善～

全世代

主な取組2 健康増進施設を活用した運動教室 ～健康づくりサポートセンター事業～

- ・いわきゆったり館内に「健康づくりサポートセンター」を整備
- ・運動・栄養・健康の相談・助言や健康づくり全般に対する総合サポート
- ・健康意識の向上と健康づくりの取組みの習慣化を促すことを目的

【令和6年度】

- ①運動プログラム(3か月)×2回
 - ・週1回の運動・水中教室等
 - ・週2回以上のセルフトレーニング
- ②健康・栄養相談会
 - ・管理栄養士等による相談会・講習会
- ③参加者への結果のフィードバック
 - ・体組成計による身体計測の結果
- ④健康づくりに関する情報提供

健康づくりサポートセンターで結果にこだわろう!

健康づくりサポートセンターでは、市民の健康づくりをサポートするために、様々な健康増進施設を活用し、健康づくりをサポートしています。

主な内容	場所	開催時期
有酸素運動	ウォーキング	いわきゆったり館 健康づくりサポートセンター
ランニング	ランニング	11:00～20:00h
エアロバイク	エアロバイク	11:00～17:00h
リハビリ	リハビリ	
ダンス	ダンス	
ヨガ	ヨガ	
水泳	水泳	
水中運動	水中運動	
水泳	水泳	

健康づくりサポートセンターの参加者を募集します!

※週に3回以上参加出来る方。※コアハウス、館内健康増進施設もご利用の際は別途料金がかかります。

TEL 0246-43-0801 FAX 0246-43-0804

参加者の改善状況

体重減少者	約61%
体脂肪率減少者	約64%
脂肪量減少者	約69%
筋肉量増加者	約56%

【令和7年度】

○第1回事業を9月～11月に実施



主な取組3 スポーツイベント等における健康づくり企画 ～ヘルスケアパスポート事業～

- ・市、明治安田、いわきFCの連携による健康づくり事業

【令和6年度】

～参加方法～

- ①ホームゲーム開催時、明治安田生命の「健活ブース」で「血管年齢」や「推定野菜摂取量」を測定
- ②スタジアムまでウォーキング
- ③上記①②をポイント化しパスポートに記録
- ④年間200ポイント以上の方を対象に、最終戦で抽選会を実施

参加状況

・約2,000人が事業に参加し、129名が抽選会に参加

【令和7年度】

○抽選回数を200ポイント以上で1回から200ポイント毎に1回へ

ヘルスケアパスポート 2025シーズン

※抽選ポイント獲得方法
①ホームゲーム開催時、明治安田生命の「健活ブース」で「血管年齢」や「推定野菜摂取量」を測定
②スタジアムまでウォーキング
③上記①②をポイント化しパスポートに記録
④年間200ポイント以上の方を対象に、最終戦で抽選会を実施

※参加方法
①ホームゲーム開催時、明治安田生命の「健活ブース」で「血管年齢」や「推定野菜摂取量」を測定
②スタジアムまでウォーキング
③上記①②をポイント化しパスポートに記録
④年間200ポイント以上の方を対象に、最終戦で抽選会を実施

※参加対象
①ホームゲーム開催時、明治安田生命の「健活ブース」で「血管年齢」や「推定野菜摂取量」を測定
②スタジアムまでウォーキング
③上記①②をポイント化しパスポートに記録
④年間200ポイント以上の方を対象に、最終戦で抽選会を実施

※抽選会
①ホームゲーム開催時、明治安田生命の「健活ブース」で「血管年齢」や「推定野菜摂取量」を測定
②スタジアムまでウォーキング
③上記①②をポイント化しパスポートに記録
④年間200ポイント以上の方を対象に、最終戦で抽選会を実施





3.(2)② 令和6・7年度健康づくり事業について【重点プロジェクト③】



生活習慣病の発症予防・重症化予防の強化【重点PJ③】

全世代

～禁煙・受動喫煙防止対策の強化、特定健診、がん検診受診率の向上～

主な取組！官民連携による禁煙・受動喫煙防止対策の強化

- ・イエローグリーンは、「受動喫煙をしたくない・させたくない」という気持ちをあらわす色
- ・Tobacco-freeふくしまやいわき市医師会等との連携により実施

【令和6・7年度】

①世界禁煙デー・禁煙週間にイエローグリーンキャンペーンを実施

※令和7年度実績

○商業施設等における啓発活動(5/31)

スパリゾートハワイアンズ、マルト尼子店、ラトブ、イオンいわき店、イオンモールいわき小名浜

○県民&市民公開講座(5/31 県医師会主催)

ポレポレシネマズいわき小名浜

○いわきFCホームゲームでのイエローグリーンスペシャルマッチ(6/16)

ステッカーやTシャツの配布
来場者による受動喫煙防止へのMyアクションの記入
デジタルサイネージへの掲示



Tobacco-free VAMOS いわき！「受動喫煙のない社会を目指して」

②妊婦、小学生、市職員等にイエローグリーンリボンを配付

③市内施設等におけるイエローグリーンライトアップを実施

いわき市医師会、いわき市薬剤師会、呉羽総合病院、かしま病院、常磐病院、福島労災病院、東日本国際大学、医療創生大学、東邦銀行、常磐共同火力発電所、東北電力いわき電力センター、いわきタクシーグループ、いわき健康センター、スパリゾートハワイアンズ、いわきスポーツクラブ、マルト(城東店)、イオンモールいわき小名浜、市役所本庁舎、総合保健福祉センター、市医療センター など





生活習慣病の発症予防・重症化予防の強化【重点PJ③】

～禁煙・受動喫煙防止対策の強化、特定健診、がん検診受診率の向上～

全世代

主な取組2 医師等による小・中学生向け健康教育授業の実施

○Tobacco-freeふくしまによる「がんタバコ特別教育」

本市や福島県などの自治体と協働し、青少年に対する正しいタバコ問題啓発は、がん教育、生活習慣病予防と深く関わることから、小・中学校への「がんタバコ特別教育」に対し、積極的に講師派遣を医師会と連携しながら実施



○いわき市版「いのちの授業」(令和4年度～)

医師、医療介護の専門職が小・中学校を訪問し、「認知症」や「医療・介護職の仕事」「がん・タバコ」に関する授業を実施

【令和6年度】

- ・実施校 8校(小学校)
- ・参加生徒 310名
- ・実施講座 「がん・タバコ」7校
「医療・介護職の仕事」1校

【令和7年度】

- ・令和6年度事業の継続実施
- ・現在、小中学校からの申し込み受付中





生活習慣病の発症予防・重症化予防の強化【重点PJ③】

～禁煙・受動喫煙防止対策の強化、特定健診、がん検診受診率の向上～

全世代

主な取組3 健康への意識を高めるセミナー・イベント等の開催

【令和6年度】

- 市医師会主催によるピンクリボン月間での市民公開講座の実施(10月)
- 市医師会との共催による市民公開講座の開催(10月)
「特定健診を受けよう!行列のできる市民公開講座」
- 市医師会及び日本ベーリンガーインゲルハイムとの連携による健診受診勧奨のディスプレイ広告(潜在層向け)やリスティング広告(顕在層向け)の実施
- 市病院協議会主催による介護フェア(5月)や市民フォーラム(9月)の開催
- かかりつけ医から通院患者への受診勧奨(通年)
- 明治安田生命との連携による市公共施設における健康測定会の実施
・12施設で実施(本庁舎、支所(9か所)、総合保健福祉センター、公営競技事務所)(5月～9月)
- 各地区保健福祉センターによる健康増進普及月間での啓発キャンペーン
・市内11施設で実施(マルト尼子店・湯本店・高坂店・四倉店、イオンモールいわき小名浜店、ヨークベニマル植田店、ホームセンター山新錦店 等)
- 協会けんぽによる特定健診受診勧奨の動画作成・放映
・YouTube、HoiHoi VISION(いわき駅前)、Tverで放映
- SNSを活用したけんしん受診勧奨

【令和7年度】

- ・市医師会や市病院協議会などと連携した市民公開講座やセミナー等の実施
- ・福島県立医大健康増進センターと連携した「いきいき健康づくりフォーラムinいわき」の開催
- ・「けんしん」受診率向上に向けた新たな取組みとして、特に「けんしん」無関心層に広くPRするための受診勧奨動画やポスターの作成

主な取組4 中山間地域等におけるけんしん受診環境等の充実

【令和6年度】

- 市病院協議会との共催による中山間地における健康講座の開催(11月)
「知って得する!!健康管理術」
～脳卒中・認知症予防のために～
- 中山間地域の公共施設等での「集団けんしん」実施
・三和、田人、川前地区では「集団けんしんのバス送迎」を実施
- 市内各地区にある100を超える登録医療機関における「個別けんしん」の実施
- 休日における「集団けんしん」の実施(全9回)
- 特定健診と全てのがん検診、特定健診と乳がん検診のセット受診日の実施
- 中山間地域の住民の健康維持や医療に関する不安解消等を目的とした「おでかけ医療センター」を実施(三和・川前地区)

【令和7年度】

- ・国保人間ドックに心不全リスク検査を追加
- ・市病院協議会との共催による中山間地における健康講座の開催
- ・「おでかけ医療センター」の実施(田人地区)



壮年期の健康づくり・健康経営の推進【重点PJ④】

～働き世代の健康づくりや企業の健康経営の推進に向け、企業と連携した健康プログラムの実施～

青年期
壮年期

主な取組1 ICTを活用した企業向け健康プログラム 「健康づくりプログラム」

・ICT等を活用し、運動を取り入れたヘルスケアプログラム

【令和6年度】

①委託先

(株)タニタヘルスリンク

②プログラム内容(3か月)

体組成計や活動量計、アプリを活用した健康づくりプログラム(2社参加)

- ・体力測定、体組成データをもとに個別運動プログラムを提供
- ・運動教室で学び自宅で実践
- ・毎月の実施レポートで活動状況を把握
- ・「タニタ社員食堂レシピ」の提供など、運動と食事面からの健康づくり

📍成果

- 参加者の約7割に運動習慣の意識変化
 - ・歩くことを意識するようになった
 - ・運動回数が増加した



主な取組2 ICTを活用した企業向け健康プログラム 「生活習慣病予防プログラム」

・県事業を活用し、栄養面を中心としたプログラム

【令和6年度】

①委託先

カゴメ(株)

②プログラム内容(1か月)

「ナトカリ比」改善プログラム
塩(ナトリウム)の摂取を減らし、野菜や果物からカリウムを多く摂取するナトカリ比を意識した食生活に取り組む(2社参加)

ナトカリ比 日本人の平均は「4」

数値が低いほど高血圧リスクは低い。

「4」未満を目指しましょう!!

- ・ベジチェックで推定野菜摂取量の測定
- ・ナトカリ比検査キットでナトカリ比を測定
- ・「朝ベジ運動&体重測定」(1か月)
- ・再度、推定野菜摂取量・ナトカリ比測定



プログラム終了後の行動変容事例

参加企業が「健康経営優良法人」の認定を受けたり、自発的に市へ「おでかけ測定会」の依頼を行うなど、企業の行動変容に繋がった。

主な取組3 アウトリーチ型健康講座 「ヘルスケア講座」

・運動・栄養等の専門講師を企業等に派遣しセミナー等を実施

【令和6年度】

①委託先

(有)ABCいわき

②プログラム内容

運動・栄養等の専門講師が、企業等に向いて講座を実施(6社参加、全10講座)

- 運動・ストレッチ講座【11種類】(60分)
 - ・肩こり改善ストレッチ
 - ・睡眠力アップ
 - ・腰痛改善ストレッチ
 - ・体幹トレーニング等

○健康セミナー【5種類】(45分～60分)

- ・健康経営とは
- ・食生活改善セミナー
- ・健康づくりセミナー
- ・ダイエットとは
- ・心の健康づくりセミナー



壮年期の健康づくり・健康経営の推進【重点PJ④】

青年期
壮年期

～働き世代の健康づくりや企業の健康経営の推進に向け、企業と連携した健康プログラムの実施～

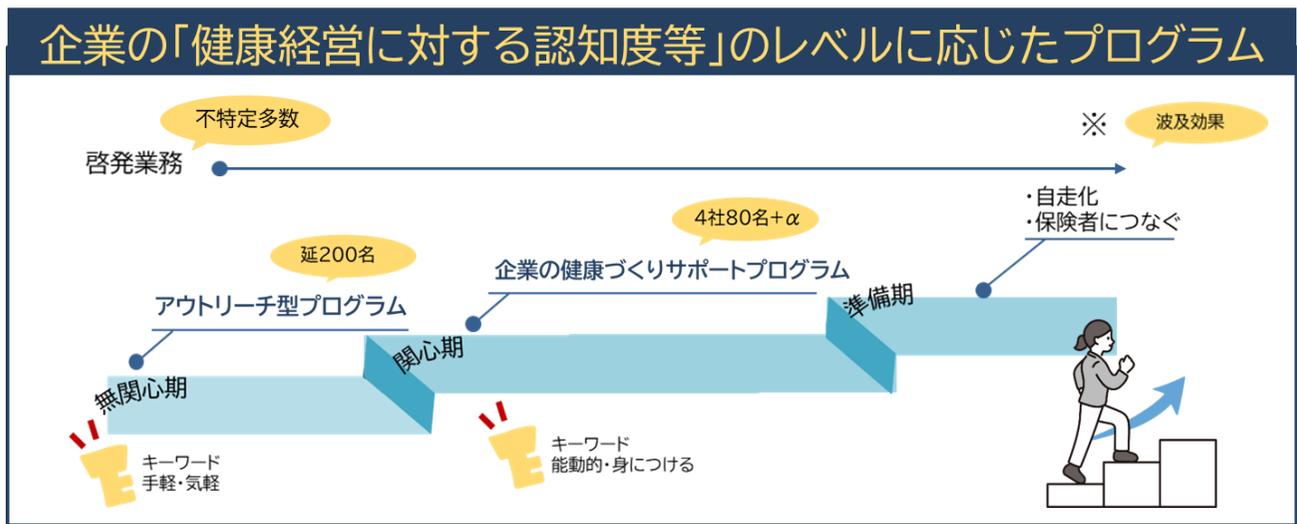
【令和7年度】

○事業構築にあたっての経過

昨年度の第1回健康推進企業普及部会において、本事業の課題について意見交換していただき、委員から提案をいただいた。
 ≪課題≫①参加企業が思うように集まらない ②(実施期間が長く)リタイヤする方が散見 ③(予算の関係で)募集可能人数が少ない
 ≪提案≫実施内容や期間に関してハードルを下げ、まずは従業員の意識付けやきっかけづくりを目的に実施してみてもどうか。

○事業設計

- ・健康経営の普及のためには、画一的な事業展開ではなく、企業の「健康経営に対する認知度等」のレベルに応じたプログラムとする。
- ・対象を、健康経営に対し「無関心期」及び「関心期」の企業とし、それらにアプローチする事業展開を図る。



アウトリーチ型プログラム

- ・ヘルスケア講座
- ・出張メンタルヘルス講座
- ・からだが見えるおでかけ測定会
- ・明治安田による出張健康測定

企業の健康づくりサポートプログラム

- ・企業分析
- ・企業担当者向けWS
- ・従業員向けプログラム
- ・(希望により)運動教室
- ▶成果報告会

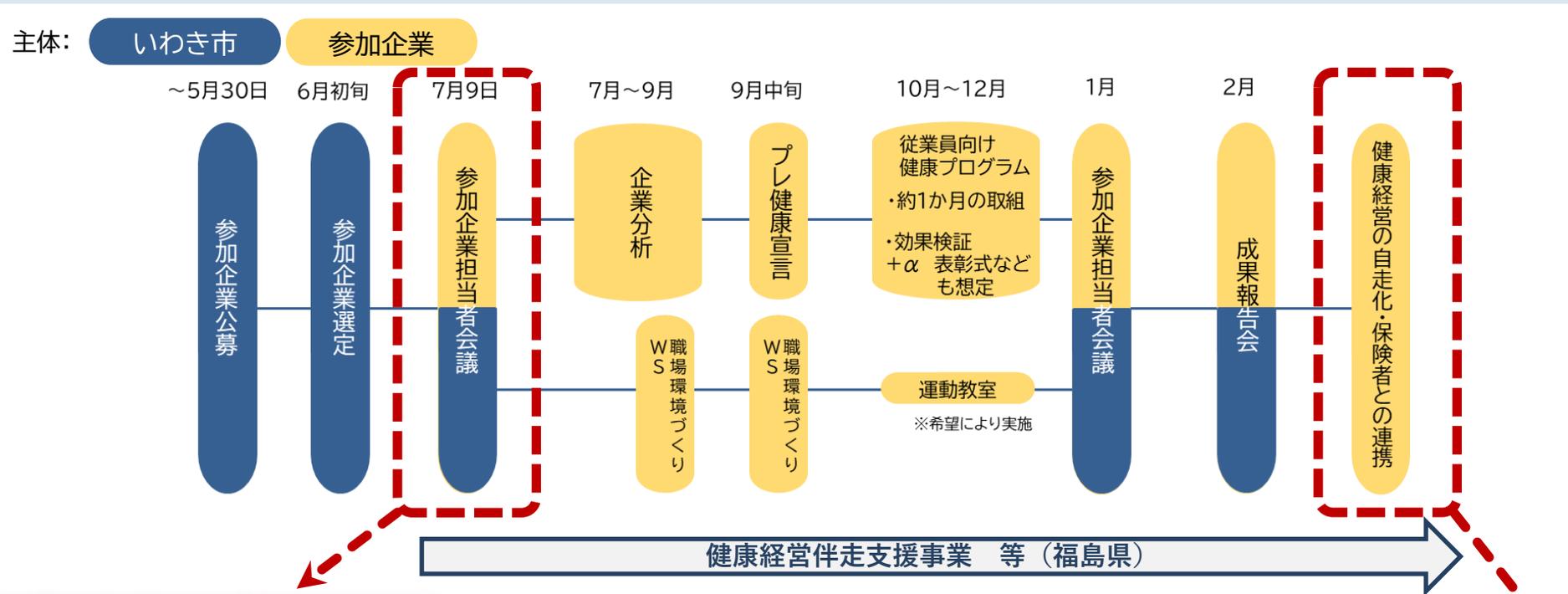
パッケージの通年型プログラム



3.(2)② 令和6・7年度健康づくり事業について【重点プロジェクト④】



【関心期企業向け】全体スケジュール



次年度以降の構想 (案)

健康的な人・まちづくりのために、企業にその基盤を担っていただくことで、企業、市民、市にとってウェルビーイングなまちづくりにつながる。

コンセプト

企業の健康意識が高ければ、健康なまちの基盤になる。

“企業もまちの健康インフラ”



子ども・高齢者の健康づくりの推進【重点PJ⑤】

学童期
高齢期

主な取組1 若年層からの生活習慣病予防対策 「いわきっ子生活習慣病予防健診事業」

中学2年生が行う貧血検査に併せ、脂質及び血糖検査を行った上で、健康授業と、指導の必要な生徒・保護者への個別健康相談等を一体的に実施する。

また、予防指標範囲外となった生徒は3年生時に再検査（希望者）を実施する。

【令和6年度】

①実施校 市内全中学校(公立34校、私立3校、計37校)

②対象生徒数 2,554名(中学2年生)

③採血検査

- ・検査項目 HbA1c、中性脂肪、総コレステロール、HDLコレステロール
- ・受診者 2,316名(90.7%)
- ・結果 予防指標範囲外 850名(36.7%)

④健康授業

検査結果に基づく生活習慣病予防学習を授業の一環で実施

⑤個別健康相談

希望に応じ、生徒と保護者への食事や運動、生活リズム等の生活習慣改善指導等を保健師、管理栄養士が実施(27校、193名)

💡 3年生時の再検査

令和3年度～6年度の再検査の結果、870名に再検査を実施し、約34%に当たる297名に改善が見られた。

【令和7年度】

・市内全中学校37校で採血終了。現在、健康授業を順次、実施中

主な取組2 シルバーリハビリ体操・つどいの場×健康教室等の開催

■シルバーリハビリ体操

- ・介護予防意識の醸成と、地域ぐるみで誰もが気軽に参加できる介護予防活動

【令和6年度】

○シルバーリハビリ体操指導士派遣

申込回数 6,242回、参加延人数 58,465名

【令和7年度】

- ・令和6年度事業の継続実施
- ・地域で活動できる体操指導士の養成を継続するほか、地域住民による自主的な介護予防活動を促進する。

■つどいの場×健康教室

- ・集会所等に自由参加で集い、介護予防や仲間づくりをする場
- ・シルバーリハビリ体操やフラダンスなどの運動、管理栄養士や薬剤師等の専門職による講話、歌やフラワーアレンジメントなど

【令和6年度】

○「つどいのガイドブック」を活用して、参加者の拡充を図った。

- ・参加数 372団体、6,139名
- ・開催数 月1回 128団体、月2回以上 244団体

【令和7年度】

- ・コーディネーターを通じ、新たな活動団体の立ち上げや参加者数、開催回数の増加のため、継続的に活動できる運営支援を実施



3.(3) いわき市の慢性腎臓病（CKD）重症化予防の取組みについて



資料2により説明いたします。



1 第24回健康いわき21推進市民大会(案)

(1) 日時

令和8年1月31日(土) 午後

(2) 場所

いわき市文化センター大ホール・大講義室

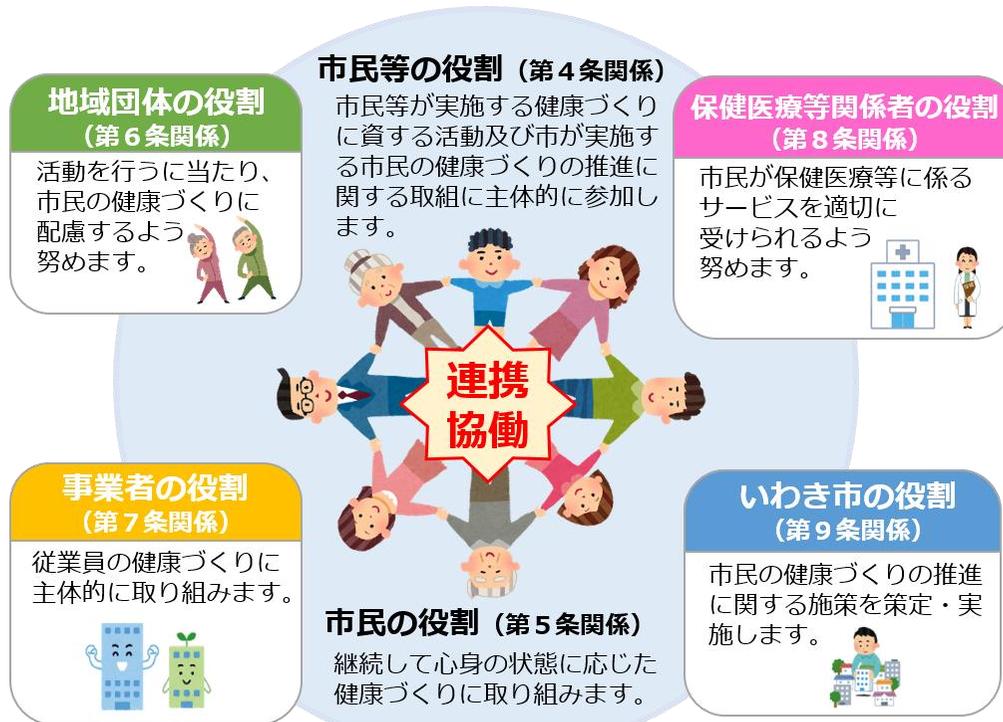
(3) 開催に係る協議事項について

開催概要等について協議する会議につきましては、今後、書面により開催させていただく予定です。



<p>目的</p>	<p>全ての市民が生涯にわたり心身ともに健康で生き生きと生活ができる健康長寿社会の実現に寄与することを目的とする。</p>
<p>基本理念</p>	<p>～市民の健康づくり～ 市民、地域団体、事業者、保健医療等関係者、及びいわき市が共に創ること。</p> <p>～市民の健康づくりの推進～ ○市民等のそれぞれが健康づくりに関する関心及び必要な知識を持ち、自らの心身の状態に応じた健康づくりに生涯にわたって主体的に取り組むこと。 ○市民の健康に関わる社会環境の整備及び向上に取り組むこと。 ○市民等及び市が相互に連携し、及び協力すること。</p>

各主体の役割





「いわき市共に創る健康づくり推進条例」に基づき、官民連携の健康づくり推進体制を構築

	健康いわき推進会議	健康推進企業普及部会
設置年月	令和元年8月	令和2年2月
目的	市民の健康づくりの推進に関する調査審議を行うもの。	健康いわき推進会議の部会として設置し、関係機関・団体等が連携し、健康経営及び地域や消費者の健康づくり活動を積極的に行おうとする企業等の取組みを推進し、普及拡大を図ることを目的とする。
委員数・構成	20名 <ul style="list-style-type: none"> ・学識経験を有する者 ・保健医療等関係者 ・関係行政機関の職員 ・その他市長が必要と認める者 	16名 <ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者 ・商工団体関係者 ・保険者関係者 ・保健衛生関係者 ・地域活性化包括連携協定締結（健康増進・食育に関すること）団体関係者 ・行政機関等関係者 ・その他必要があると認められる団体関係者
開催頻度	年2回程度	年2回程度 ※令和4年度からは、必要に応じて、ワーキンググループを設置



【参考】健康いわき推進会議構成員名簿



健康いわき推進会議

No.	団体名	役職
1	いわき市	市長
2	医療創生大学	教授
3	東日本国際大学	学長
4	一般社団法人いわき市医師会	会長
5	一般社団法人いわき市病院協議会	代表理事
6	一般社団法人いわき市歯科医師会	会長
7	一般社団法人いわき市薬剤師会	会長
8	福島県国民健康保険団体連合会	常務理事
9	全国健康保険協会福島支部 (協会けんぽ)	保健グループ長
10	いわき商工会議所	会頭
11	いわき地区商工会連絡協議会	会長
12	公益財団法人福島県保健衛生協会 いわき地区センター	所長
13	いわき健康管理センター	事務長
14	いわき市健康推進員協議会	会長
15	公益社団法人福島県栄養士会いわき支部	企画運営委員長
16	社会福祉法人いわき市社会福祉協議会	会長
17	いわき市民生児童委員協議会	会長
18	いわき市体育協会	会長
19	いわき市PTA連絡協議会	会長
20	いわき労働基準監督署	安全衛生課長

健康推進企業普及部会

No.	区分	団体名	
1	学識経験者	医療創生大学	
2		東日本国際大学	
3	商工団体	いわき商工会議所	
4		いわき地区商工会連絡協議会	
5	保険者 関係団体	全国健康保険協会福島支部(協会けんぽ)	
6	保健衛生 関係団体	福島県栄養士会いわき支部	
7	地域活性化包括連 携協定締結団体 (健康増進・食育に 関すること)	株式会社 マルト商事	
8		イオンモール株式会社 イオンモールいわき小名浜	
9		イオン東北株式会社 イオンスタイルいわき小名浜	
10		イオン東北株式会社 イオンいわき店	
11		株式会社 セブン-イレブン・ジャパン	
12		大塚製薬株式会社 郡山出張所	
13		第一生命保険株式会社	
14		明治安田生命保険相互会社 いわき支社	
15		株式会社いわきスポーツクラブ	
16		行政機関等	いわき市保健福祉部